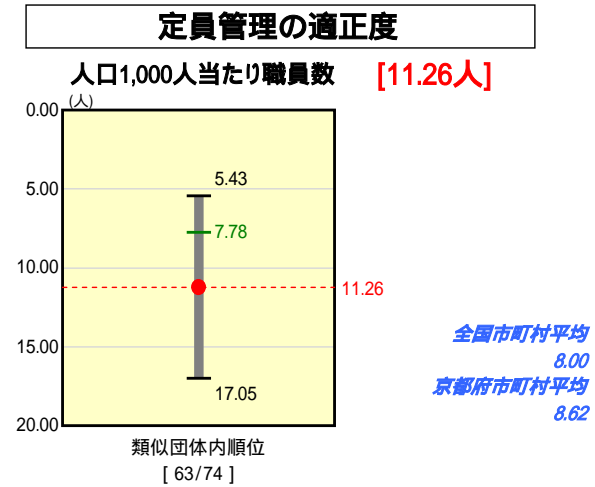
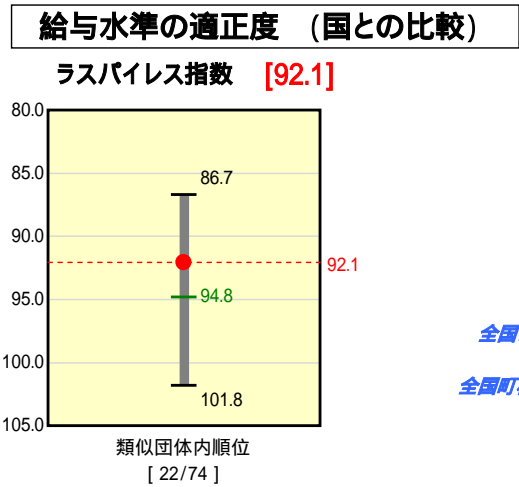
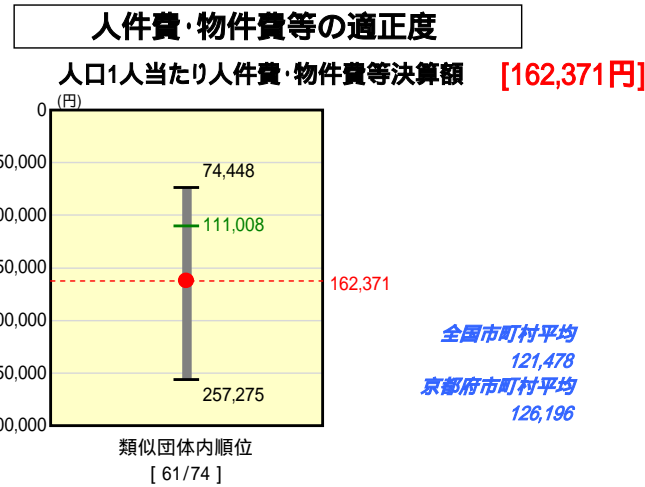
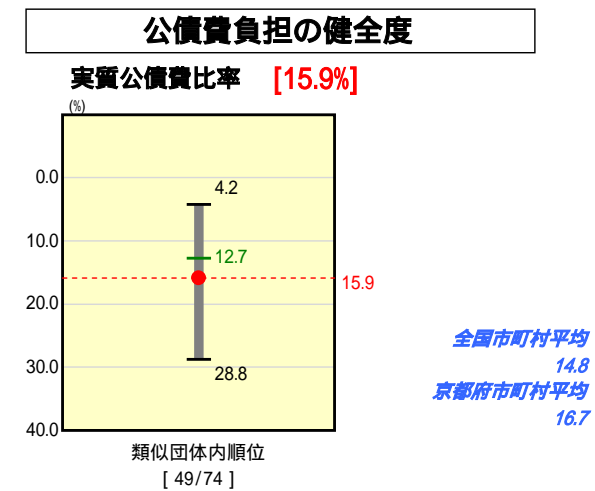
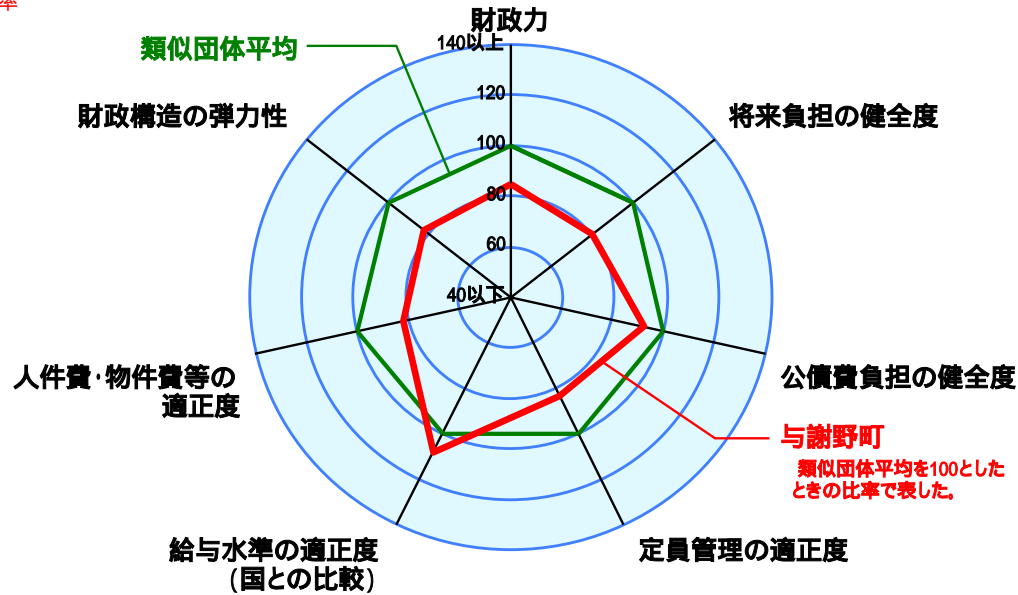
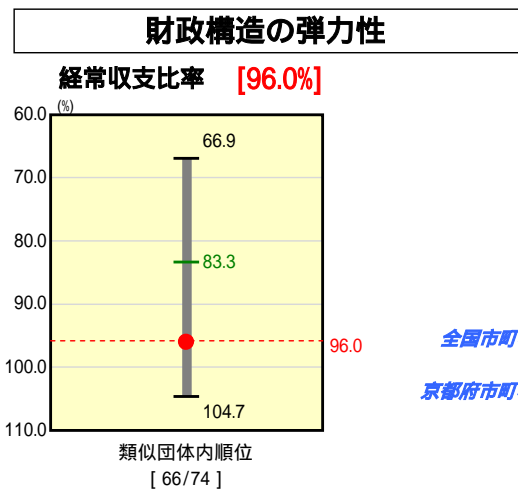
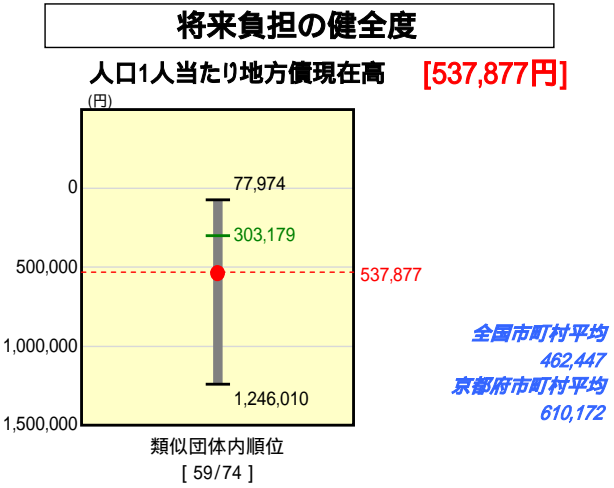
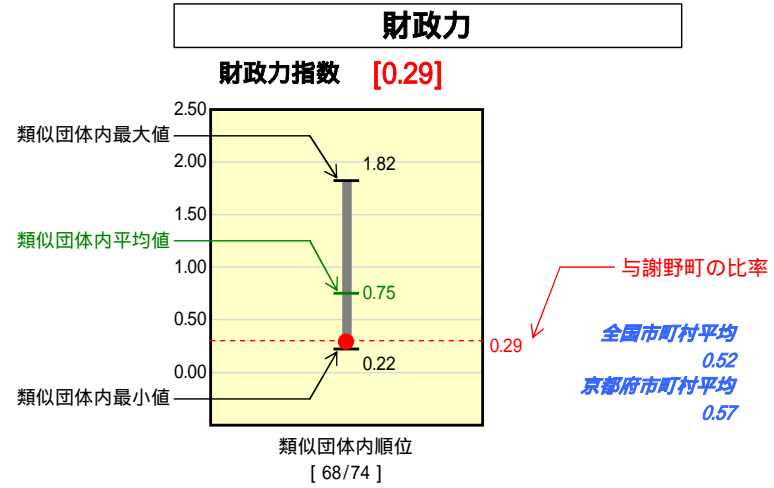


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

京都府 与謝野町

人口	25,583人	(H18.3.31現在)
面積	107.04	km ²
歳入総額	12,287,109	千円
歳出総額	12,146,019	千円
実質収支	25,188	千円



分析欄

【財政力(財政力指数)】

長引く地場産業の低迷、人口の減少、高齢化などにより、税収は減少の一途である。自主財源に乏しく地方交付税に依存している財政基盤は脆弱であり、財政力指数は類似団体平均を大きく下回っている。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】

三位一体改革による地方交付税の削減や臨時財政対策債の減少などにより比率は悪化している。合併を契機に内部管理経費の削減など効率的な行財政運営を実現し、経常経費の削減に努める。

【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】

人件費・物件費ともに類似団体の数値を上回っている。合併による事務の効率化や定員管理計画等に基づき削減に努める。

【給与水準の適正度(ラスパイレズ指数)】

合併前までに給与・諸手当の減額をしており、全国的にも平均を下回っている。

【将来負担の健全度(人口1人当たり地方債現在高)】

平成16年度は合併前の旧3町のうち、旧2町が類似団体数値を下回り、1町がほぼ同額であったが、平成17年度は合併による類似団体区分の変更等により大きく上回ることになった。国・府の補助金を活用するとともに計画的な財政運営を推進し、後世への負担を軽減するよう努める。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】

府内平均は下回っているものの、類似団体数値は上回っている。合併特例債など交付税算入率の高い良質債の活用や起債発行の抑制、高利の借換・繰上償還などにより健全財政に努める。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たりの職員数)】

平成16年度は合併前の旧3町ともに類似団体数値を下回っていたが、平成17年度は合併による類似団体区分の変更等により上回ることになった。退職者不補充など定員管理計画に基づき定員管理に努める。